

令和7(2025)年度 学校関係者評価報告書

作成日：令和8（2026）年3月31日

専門学校桑沢デザイン研究所 学校関係者評価報告書について

専門学校桑沢デザイン研究所学校関係者評価は、デザイン関連業界等関係者、卒業生、教育に関し知見を有する者、学識経験者・地域支援者を委員として選任し、本校が実施した自己評価結果に関する評価をおこなっていただいている。現状における課題について助言を得る貴重な機会としても位置づけ、必要な改善、学校運営や教育実践力等の向上に役立てることとする。根底に本校が従来から伝統的に取り組んできたものについてその価値を見極めていただき、今後も継続できるよう客観的に評価していただいた。

1. 実施日時

- 第1回 学校関係者評価委員会 令和7年7月25日
第2回 学校関係者評価委員会 令和8年3月10日

2. 実施場所

- 第1回 学校関係者評価委員会 オンライン会議
第2回 学校関係者評価委員会 専門学校桑沢デザイン研究所 会議室

3. 実施組織

学校関係者評価委員会

評価委員：

- 磯村 歩 株式会社フクフクプラス代表取締役/本校非常勤教員
川上 典李子 21_21 DESIGN SIGHT アソシエイトディレクター/本校非常勤教員
後藤 和樹 株式会社シー・エヌ・エス/本校卒業生
山廣 茂夫 元専修学校校長/神奈川県立高等学校副校長
陸 鐘旻 公益財団法人 日本高等教育評価機構 評価事業部長 兼 評価研究部長
(50音別 敬称略)

4. 学校自己評価報告書について

(a)評価基準:文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠

(b)評価項目:次の10項目について実施

- 項目1 教育理念・目的・人材像
項目2 学校運営
項目3 教育活動
項目4 学修成果
項目5 学生支援
項目6 教育環境
項目7 学生の募集と受け入れ
項目8 財務
項目9 法令等の遵守
項目10 社会貢献・地域貢献

(c)評価項目に対する評価

4段階評価で点数評価した。 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

5. 学校関係者評価報告書の作成について

上記の学校自己評価報告書を基に、評価委員毎に各項目について確認の上意見をご提出いただいた。それぞれの点検項目に関する自己評価と、評価委員のコメントを以下の様にまとめた。

項目1 教育理念・目的・育成人材像

教育理念・目的・人材育成像	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1
1. 理念・目的・育成人材像は定められているか	④ 3 2 1
2. 育成人材像は専門分野に関する業界等の人材ニーズに適合しているか	4 ③ 2 1
3. 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	④ 3 2 1
4. 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④ 3 2 1

【学校関係者評価委員会コメント】

「2.育成人材像は専門分野に関する業界等の人材ニーズに適合しているか」について

- 本年度のコンピュータ室の機器入替により、デジタル造形等に関する機器不足への改善を行った。だが、情報やサービス等に関する科目不足は今後の課題として認識している。

「4.社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか」(重点項目)について

- 社会のニーズを踏まえた教育内容及び方法の変更、専攻間の相互理解と連携の必要性があり、今後も検討を続けていくと認識している。

項目2 学校運営

学校運営	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1
1. 理念等に沿った運営方針を定めているか	④ 3 2 1
2. 理念等を達成するための事業計画を定めているか	④ 3 2 1
3. 設置法人の組織運営を適切に行っているか	④ 3 2 1
4. 学校運営のための組織を整備しているか	④ 3 2 1
5. 人事・給与に関する制度を整備しているか	④ 3 2 1
6. 意思決定システムを整備しているか	④ 3 2 1
7. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④ 3 2 1

【学校関係者評価委員会コメント】

- 特になし

項目3 教育活動

教育活動	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1
1. 理想に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	④ 3 2 1
2. 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	④ 3 2 1
3. 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4 ③ 2 1
4. 教育課程について外部の意見を反映しているか	④ 3 2 1
5. キャリア教育を実施しているか	④ 3 2 1
6. 授業評価を実施しているか	④ 3 2 1
7. 成績評価・修了認定基準を明確化し適切に運用しているか	4 ③ 2 1

8. 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	④	3	2	1
9. 目標とする資格・免許は教育課程上で明確に位置づけているか	4	3	②	1
10. 資格・免許の指導体制はあるか	4	3	②	1
11. 資格・要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
12. 教育資質向上への取り組みを行っているか	4	③	2	1
13. 教員の組織体制を整備しているか	④	3	2	1

【学校関係者評価委員会コメント】

「7.成績評価・修了認定基準を明確化し適切に運用しているか」について

- 貴学は専任教員と兼任教員で協力し、課題を与えながら学生に考える力と実践力をつけている。とりわけ兼任教員は、評価会議の時間設定が難しい。そのため評価基準の統一に課題が残っている。評価を下げた理由について自己評価報告書の記述からは不明である。評価を下げる場合は、その理由や課題内容について具体的に記述することが望ましい。
- 実態として兼任教員は教員間での交流の場が無いため評価基準が異なる。更に、短い期間で授業を担当するため、学生の特性の見極めが難しい。専任教員や兼任教員が個々の学生に対する教育アプローチについて記録を取り、指導に反映させてはどうか。
- 成績評価の一定の基準作りは共通認識の基で行う必要があるが、FD研修(教育の質の研究改善活動)の一環として成績評価の基準作りをしてはどうか。兼任教員へ FD 研修への参加を要請することで、教員間の交流の場とすることも出来る。
- 年度末に専任教員と兼任教員を集め、翌年度の教育目標や課題について確認及びディスカッションをする場を設けることが有効ではないか。

「9.目標とする資格・免許は教育課程上で明確に位置づけているか」「10.資格・免許の指導体制はあるか」について

- 教育理念が資格取得だけを目的としておらず、資格・免許について、教育課程上での位置づけや指導体制を整えていないわけではないため、評価を下げる必要はないのではないか。

「12.教育資質向上への取り組みを行っているか」について

- FD研修について、年度内での実施を予定しているとの記述があるが、自己評価報告書の公開自体が年度末であるため、今年度1度も実施していないのか疑問に思ってしまう。また、実施予定の場合は研修名や内容について具体的に記述した方が良い。

項目4 学修成果

学修成果	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
1. 就職率の向上が図られているか	4	③	2	1
2. 資格・免許取得率の向上が図られているか	4	3	②	1
3. 卒業生の社会的な評価を把握しているか	④	3	2	1

【学校関係者評価委員会コメント】

「1.就職率の向上が図られているか」について

- 夜間部では、既にデザインの仕事に携わりながらキャリアアップを目指して入学した学生が在籍している。そのことを踏まえて、自己評価報告書に記述しておくべきである。
- 既に就職している学生が在籍していることを踏まえてデータを集計した方がわかりやすい。

「2.資格・免許取得率の向上が図られているか」について

- もともと貴学は、資格・免許の取得よりもデザイン的な問題意識とそれに対応する実践力を持った人材養成を教育理念としている。卒業後に二級建築士の受験資格が得られる教育課程もあることから、評価を下げる必要はないのではないか。

項目5 学生支援

学生支援	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
1. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
2. 退学率の低減が図られているか	④	3	2	1
3. 学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
4. 留学生に対する相談体制を整備しているか	④	3	2	1
5. 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
6. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
7. 学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか	4	③	2	1
8. 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
9. 保護者と連携体制を構築しているか	4	③	2	1
10. 卒業生への支援体制を整備しているか	④	3	2	1
11. 産学連携による卒後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	4	③	2	1
12. 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	④	3	2	1

【学校関係者評価委員会コメント】

「1.進路・就職に関する支援体制は整備されているか」について

- 学生ごとのキャリアに沿った就職相談が難しい。学生の取り組みから会社選びの経緯までの長期的なスパンでの事例について、情報共有の場やシステム等によって確認ができると良い。
- 兼任教員が多く在籍しているため、教員のネットワークを就職支援に活かせる仕組み作りをしてはどうか。
- 夜間部の学生は、大学や専門学校を卒業して働きながらキャリア形成に入学した者が多い。そのことを踏まえて、キャリアチェンジに特化したキャリア教育を充実させると良い。また、昼間部・夜間部のカリキュラムにOBから話を聞く機会を設けてはどうか。

「2.退学率の低減が図られているか」について

- 退学率が非常に低く、高く評価できる。

「11.産学連携による卒後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか」について

- 取り組みは行っていないとあるが、取り組みを行っていない理由についても記述する方が好ましい。

項目6 教育環境

教育環境	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
1. 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	④	3	2	1
2. 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	4	③	2	1
3. 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	④	3	2	1
4. 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	④	3	2	1

【学校関係者評価委員会コメント】

「2.学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか」について

- 長年実施している希望者向けのバウハウスツアーは、参加者にとって有意義である。海外研修として高く評価したい。また、学外実習やインターンシップの実施体制も整っているため、評価を上げて良いのではないかと。
- 学外実習やインターンシップの実績について、具体的に記述することが望ましい。

項目7 学生の募集と受け入れ

学生募集受け入れ	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
1. 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	④	3	2	1
2. 学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか	4	③	2	1
3. 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	④	3	2	1
4. 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	④	3	2	1
5. 経費内容に対応し学納金を算定しているか	④	3	2	1
6. 入学辞退者に対し授業料等について適切な取り扱いを行っているか	④	3	2	1

【学校関係者評価委員会コメント】

「2.学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか」(重点項目)について

- 自己評価報告書の記述から評価を下げた理由が不明である。また、定員充足率に関する記述がないため、数値的な裏付けを踏まえた記述にすることが望ましい。

項目8 財務

財務	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
1. 学校及び法人運営の中期的な財務基盤は安定しているか	4	③	2	1
2. 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	④	3	2	1
3. 教育目標との整合性を図り単年度予算、中期計画を策定しているか	④	3	2	1
4. 予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	④	3	2	1
5. 私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施しているか	④	3	2	1
6. 私立学校法に基づく財務公開体制を整備し適切に運用しているか	④	3	2	1

【学校関係者評価委員会コメント】

「1.学校及び法人運営の中期的な財務基盤は安定しているか」について

- 夜間部の募集状況が評価を下げた理由になる場合は、課題として自己評価報告書に記述することが望ましい。

項目9 法令等の遵守

法令等の遵守	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
1. 法令や専修学校設置基準を遵守し適正な学校運営を行っているか	④	3	2	1
2. 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	④	3	2	1

3. 自己評価に実施体制を整備し評価を行っているか	④	3	2	1
4. 自己評価結果を公表しているか	④	3	2	1
5. 学校関係者評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	④	3	2	1
6. 学校関係者評価結果を公表しているか	④	3	2	1
7. 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	④	3	2	1

【学校関係者評価委員会コメント】

- 特になし

項目10 社会貢献・地域貢献

社会貢献・地域貢献	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
1. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2	1
2. 国際交流に取り組んでいるか	④	3	2	1
3. 学生のボランティア活動を奨励、具体的な活動支援を行っているか	④	3	2	1

【学校関係者評価委員会コメント】

「1.学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか」「3.学生のボランティア活動を奨励、具体的な活動支援を行っているか」について

- 「シブヤフォント」(渋谷区内の障がいのある人と本校の学生の共創によるフォントやパターンデータ)では学校と自治体が密に連携した活動をしており、団体設立にまで繋がっているため、優れた取り組みとして記述し、高い評価をするべき。

6. 学校関係者評価委員の評価結果について

上記報告内容は、学校関係者評価委員として、
妥当な評価であることを確認し、認めます。

令和8年3月31日
専門学校桑沢デザイン研究所学校関係者評価委員会

【学校関係者評価委員会】

委員長(教育に関し知見を有する者)

山廣 茂夫〔元専修学校校長/神奈川県立高等学校副校長〕

委員(関連業界等関係者)

磯村 歩〔株式会社フクフクプラス代表取締役/本校非常勤教員〕

委員(関連業界等関係者)

川上 典李子〔21_21 DESIGN SIGHT アソシエイトディレクター/本校非常勤教員〕

委員(卒業生)

後藤 和樹〔株式会社シー・エヌ・エス/本校卒業生〕

委員(教育に関し知見を有する者)

陸 鐘旻〔公益財団法人 日本高等教育評価機構 評価事業部長 兼 評価研究部長〕